

『抄録』 『義歯床の安定に関与する歯肉形成』サブタイトル（歯肉形成の重要性）

超高齢社会を迎え歯科医療の充実が求められ、義歯の質的需要が高度化しています。

また、歯科医療現場も高度に発達した医療技術の進歩により、無歯顎者の疾病構造も著しく変化してきていると思われます。

義歯製作も簡便で、客観的な根拠から効率的な義歯製作システムと供給体制が求められていると考えます。

今回、島根県歯科技工士会生涯研修（自由研修課程）では義歯製作で重要となる歯肉形成について考察し、

無歯顎臨床で最も重要な要素である客観的な人工歯排列と咬合から効率的な歯肉形成について講演する予定です。

また、無歯顎補綴の義歯製作に必要となる客観的な設定基準について考察したいと考えています。

症例を担当する歯科医師の治療計画を基に、歯科技工士・歯科衛生士も共有し、各ステップを慎重に進められることが重要と考えます。

無歯顎模型を大別すると、概形模型と機能模型に分類され模型上に表現された組織を十分に熟知し臨床模型の分析及び解析が重要な鍵となります。

そこで、解剖学・発生学・生理学から異なる臨床症例に対する患者固有の咬合平面の設定と咬合彎曲の与え方について

生理学的、力学的に考慮した適切な部位に人工歯排列を行い、筋組織と口腔内に調和した歯肉形成を付与することが重要であります。

時間の許す限り聴講して戴いた皆様と共に有意義な講演会になれば幸いです。

（公社）日本歯科技工士会生涯研修認定講師  
佐藤補綴研究室（名古屋市開業）佐藤 幸司